

# 徳富蘇峰記念館

## 目録 (5)

### 明治・大正の絵葉書展 平福百穂絵画展

(昭和59年10月、昭和61年10月)

日本で最初の絵葉書は、明治35年6月18日、万国郵便連合加盟二十五周年祝典記念に、6枚一組5銭で発行されたものである。その内容はケース番号14で紹介する。今回展示した絵葉書四百枚は、蘇峰が蒐集した各種記念絵葉書と、海外を旅行した友人からの絵葉書との二種類である。日本では明治6年最初に郵便はがきが発行され、33年に私製はがきが認可され、35年官製絵はがきが出来、36年私製の絵はがきが認可された。外国との郵便が開始されたのは明治8年1月である。

私製の絵はがきは日露戦争の慰問用として流行し、又、明治37・8年戦没凱旋記念、戦没記念の絵葉書が多種作られた。

明治35年に発行された日本で最初の絵葉書と、38・9年に集中して発行された日露戦没関係の絵葉書を比べてみると、わずか3年の間に、紙質をはじめ、多色刷り、金泊、写真入り、凸凹入りと、精巧な美しいものに発達し、明治時代の日本の技術的発展の速さを、十分に感じとることができる。

#### ケース番号14

日本最初の記念絵葉書、明治35年6月10日告示。6月18日発行。万国郵便連合加盟25年祝典記念。以下の6種1組が5銭で発行された。加盟当時の横浜郵便局と今の横浜郵便電信局。東京郵便電信局舎と郵便発着口。加盟当時の駅通局と西暦187年始めて連合大会議を開いた端西国ベルヌの会場。千代田城及楠正成銅像。日本交通地図。山陽道汽車進行中の郵便物受授機械。以上

いづれの説明も日本語とフランス語で書かれている。葉書の表には万国郵便連合加盟25年記念祝典に際し、初めて用いられた特殊通信日付印(明治35年6月20日付)が捺してある。一色刷り。

万国郵便連合端書(明治38年大山元師肖像。東京停車場開場記念(大正3年12月18日)。鉄道院東京改良事務所発行。東京停車場北半分と南半分の2枚1組で東京駅全景となる。東京停車場(写真)、横浜高島町仮停車場(写真)以上4枚。日露戦争などのおおりに進まなかった工事も、明治41年になってやっと本格化し、6年目に完成した。東京駅の左右対称の建築様式は明治末期の西洋建築の代表的なもの。

鉄道5千哩祝賀会記念(明治39年5月20日)3枚。名古屋城の写真と汽車の煙に500マイルと書いてある。富士山をバックに走る汽車。新橋・横浜間鉄道開業式御臨幸之写真と全国の鉄道のマークを並べたもの。明治5年に新橋・横浜間(18マイル)に鉄道が開通して

から35年目の明治39年5月に鉄道の総延長(台湾敷設も含む)が5千マイルを突破した。同月20日、名古屋で開かれた祝賀会を記念した絵葉書。この年鉄道国有法が公布され、17社450キロの鉄道が買収された。最急行、急行、直線の区別ができ、急行料金が設定されたのも同年。国鉄国有法公布から79年後の現在、国鉄民営化が盛んに論じられるに至った。

第3回図書館協会大会記念(明治41年11月) 於慶応義塾図書館。南葵文庫公開記念 2枚。帝國博物館上野開館二十五周年記念。博物館長 町田久成(明治10年より明治15年)と、博物館総長、男爵九鬼隆一(明治22年より明治33年)の写真。博文館創業20周年記念 3枚。萬朝報15周年記念 (明治40年) 2枚。

ケース番号15  
国民新聞社発行凱旋記念絵葉書(明治39年5月6日) 5枚。  
国民新聞社発行号外絵葉書 8枚。  
伊藤公の凶変(明治42年10月26日)  
英帝崩御(明治43年5月7日)  
韓国併合発表(明治43年8月29日)  
天皇陛下崩御(明治45年7月30日)  
改元発表の号外。「億兆の悲痛、国民の哀痛」とある。

詔勅せらる(大正元年7月31日)  
大正の元号は、公羊伝に「君子大居正、易に曰く「大亨以正天道也」とあるに依って定められたとある。

国民新聞社本社新装(大正3年3月21日) 対独宣戦公布(大正3年8月23日) いずれも黒白写真。

歴代アメリカ大統領の肖像画の絵葉書。第2代(ジョン・アダムズ)と第23代(ベンジャミン・ハリソン)。明治41年3月から1年9ヶ月にわたって米國留学中の山室宗文が、米國の感想を書いて送ったもの。米國でも恐らく24枚揃えて保存してあるのは珍しいであろう。

東京勸業博覧会記念(明治40年3月20日)7月31日) 8枚。上野公園 東京府。世界で最初に万国博覧会が開かれたのは、一八五一(嘉永4年)イギリスのロンドンに於てである。人々が集まり、実際に見学し、情報を得ることは、文明の普及にとって有効な手段であった。日本に於ても明治政府は殖産興業に力を入れ、博覧会を開設した。明治10年、36年まで計五回「勸業博」が開かれ、その後地方開催の博覧会が盛んになり、産業経済の発達に寄与した。最初の地方博覧会は明治11年の横浜の共進会。東京勸業博覧会で登場した瓦斯館のイルミネーションで飾られた会場の夜景の絵葉書は、目をひくものである。

東京大正博覧会(大正3年3月20日)7月31日) 上野公園。  
英皇戴冠式(明治44年7月) 7枚  
青木よりの便り。  
英エドワード王大葬儀(明治43年6月) 3枚。

日露戦没記念関係絵葉書 明治37年9月から通信省は「日露戦没記念」の絵葉書をつぎつぎに発行した。これが大変な人気を呼び、発売の日には早晩から、郵便局の前に人波ができたほどだった。

神田郵便局戦没記念絵葉書発売光景の絵葉書は、各種の記念絵葉書を持った人々、神田郵便局を取り巻く長蛇の列、スタンプを押す人の三つの写真が載っている。この絵葉書からも記念絵葉書の当時の人気を見ることが出来る。

陸軍凱旋観兵式記念 甲乙の二種で甲は出征した二元師大將 (Kuruki Nozu Yamagata Oyama Oku Nogori Kodama Kawamura) の写真を掲げ、売価五銭、百万組の発行。乙は中古における凱旋式の図を着色で描き、売価十銭二十二万組の発行であった。

明治37・8年戦没凱旋記念 2枚。第一師団長陸軍中将閑院宮殿下の写真と伊那名所今宮公園、大山元師と東郷海軍大將の写真と飯田町凱旋門と天龍峽絶景姑射橋の写真。凱旋記念の四枚の絵葉書は金泊がほどこされ、多色刷りに写真が入り、色彩あざやかな工芸品といったおもむきがある。国旗の紅の色が80年後にもあざやかに映えている。

中古における凱旋式の図には次のような蘇峰の書き込みがある。「天行健君子自強不息 明治39年5月初一 蘇峰書之。」次男万態に宛てた表書きがあるが、郵送されてはいない。

真ちゃんのはほしいか旅順という言葉が書かれている絵葉書 兄と妹らしき子供が二人。水兵服を着た兄が手にぶら下げた兵士の人形を、妹が手を伸ばして取ろうとしている。曲線で大陸の地図が描かれているが、人形の真下辺りが旅順か。旅順陥落が子供の漫画にまで描かれている点で興味深い。

児玉陸軍大將の肖像写真 (明治39年7月23日) 木の皮を薄く延したものに肖像をプリントし、紙に貼付してある絵葉書。

戦利加農砲ノ遠陽停車場砲撃 (明治38年2月11日) 戦地に於ける陸軍の天長節 (明治38年2月11日) 篤志看護婦人会 (明治38年2月11日) 2枚。各官妃殿下綉帯御調製 靖国神社大祭記念郵便局のスタンプが捺してある。

(明治39年5月3日付) 水師営に於ける彼我司令官の会見 (明治38年10月15日) 明治38年1月1日に旅順の露軍が降伏を申出た時の乃木希典大將とロシアのステッセル將軍が水師營の地で行った歴史的会見の図。その際、ステッセル將軍は希典に愛馬を贈ろうとしたが、その愛馬も日本の物だから私用することはできないと、好意を謝絶したことが山路愛山の「乃木大將」の中に見える。その後、小学唱歌には「軍の掟に従いて他日我が手に受領せば永く勞り養はん」と、実際は受領して乃木邸で飼い、大將も乗って

いたとある。沙河会戦中の第三師団司令部 (明治38年10月15日) 2枚。大山総司令官の奉天入場と戦後の奉天停車場 (明治38年10月15日) 2枚。旗艦三笠より見たる砲烟中の「スワロフ」 (明治38年10月22日) 3種一組。観艦式記念 (明治38年10月22日) 戦没記念の絵葉書 明治37・8年戦没海軍記念日のスタンプがついている葉書には靖国神社大祭記念郵便局のスタンプ (明治39年5月付で錨の図柄) がおしてある。16枚。明治37・8年戦没陸軍凱旋観兵式記念 (明治39年4月付) のスタンプのみがおされているもの16枚。

陸軍特別大演習記念 (明治44年11月) 2枚。川村大將と長谷川大將の写真 観艦式記念 (明治38年) 明治38年凱旋観艦式記念 (明治39年5月27日) 日本赤十字社戦後臨時総会・第十四回総会記念 (明治39年6月12日) 日本赤十字社総裁閑院宮載仁親王殿下と閑院宮妃智恵子殿下の写真。明治37・8年戦没陸軍記念 7枚。一枚のカードに四つの野戦局と地名のスタンプが押してあるものもある。その一例をあげると、関東第七野戦局 (39年3月10日)、第十一野戦局 (39年3月10日)、鉄嶺野戦局 (39年7月28日)、牛家屯野戦局 (39年7月30日) 清・金州 (39年8月1日)。

蘇峰は39年5月から8月まで支那を旅行しているもので、その時に各地でスタンプを捺したものであろう。賀状・クリスマスカード25枚。植木枝盛賀状 (明治22年) 尾崎紅葉 (明治25年) 斎藤茂吉 (明治33年) ベルリンより。明治20年30年代の外国からのクリスマスカードは、美しい多色刷りで、デザインもひいら木の飾りや子供や動物をあつかい、愛くるしいもので、現代にもって来ても人々の目を惹きつけるであろうと思われる魅力のあるカードである。

ケース番号17 海外を旅行した知人からの絵葉書。当館には諸外国からの絵葉書三百余枚を収蔵しているが、その中の五十枚を展示した。

ロンドン・ペーノスアイレス・オーストラリア・プタベスト・ワシントン・ニューポルト・パリ・サンフランシスコ・マルセーユ・ベルリン・メトロポリタン・ペテルスブルグ・マンチエスタター等各地の風景・都市の様子などが送られている。小坂順造・長谷場純孝・留岡幸助・三宅驥一・平田久などが12・3枚づつ絵葉書を送っている。

又、旅行中であるためか、親しい間柄のためか、名前しか記名していないものが多い、名前も書いていないものが多い。露仏同盟の記念橋 (明治41年) サンフランシスコの大地震 (明治41年) ロングビーチの海水浴 (明治41年) パリの洪水 (明治43年) ベルリンの町中の様子 (明治44年) ニューヨー

クの新開街と市庁公園(明治45年)などさまざまな色刷りの美しいものがある。留岡幸助は明治36年10月25日付で、ロンドンから黒人の大道芸人の絵葉書を送っている。

恭祝平和克復之新年(明治39年元旦)2枚。日米間海底電信直通記念(明治39年8月1日)2枚。 明治天皇

と第26代大統領ローズヴェルトの肖像と両国旗、宮城と白宮(ホワイトハウス)の写真と日米間海底電信の地図(東京から小笠原島を経てグワム島に至り、

フリーピンを経て上海に至る線と、ミッドウェイ島とハワイを経てサンフランシスコに至る線とに分れている。

明治39年8月、東京―父島間に海底ケーブルが敷設され、日本と米国本土(サンフランシスコ)間の海底ケーブルが一本につながった。現在の経路は二宮から、グアム―米国本土と沖繩―諸

外国のニコースで、計千六百回線が国際電話に使われているが、当時は電信のみ。「日米間は之が為にいよいよ促進し、兩國の關係は益々密接の度を加

えるに至るや疑を容れず」と当時の新聞は伝えている。

母国実業団来桑記念(明治42年)3枚。 伏見宮、コンノート両殿下の肖像と日英博覧会会場図、時代風俗画、富士山と獅子図。時代風俗図の説明は次のようなものである。「我国中古の交通機関たる馬の状態でして木版の彫刻、色彩の配合に固有の特色を示し、努めて古雅なる風尚を偲ぼしむ。其の印刷の如き実に二十余回の手刷を経たものなり」三枚一組が美しい封筒に入れられ二十銭で売られた。

京から小笠原島を経てグワム島に至り、フリーピンを経て上海に至る線と、ミッドウェイ島とハワイを経てサンフランシスコに至る線とに分れている。

明治39年8月、東京―父島間に海底ケーブルが敷設され、日本と米国本土(サンフランシスコ)間の海底ケーブルが一本につながった。現在の経路は二宮から、グアム―米国本土と沖繩―諸外国のニコースで、計千六百回線が国際電話に使われているが、当時は電信のみ。「日米間は之が為にいよいよ促進し、兩國の關係は益々密接の度を加えるに至るや疑を容れず」と当時の新聞は伝えている。

母国実業団来桑記念(明治42年)3枚。 伏見宮、コンノート両殿下の肖像と日英博覧会会場図、時代風俗画、富士山と獅子図。時代風俗図の説明は次のようなものである。「我国中古の交通機関たる馬の状態でして木版の彫刻、色彩の配合に固有の特色を示し、努めて古雅なる風尚を偲ぼしむ。其の印刷の如き実に二十余回の手刷を経たものなり」三枚一組が美しい封筒に入れられ二十銭で売られた。

日英博覧会記念(明治43年5月14日)3枚。

伏見宮、コンノート両殿下の肖像と日英博覧会会場図、時代風俗画、富士山と獅子図。時代風俗図の説明は次のようなものである。「我国中古の交通機関たる馬の状態でして木版の彫刻、色彩の配合に固有の特色を示し、努めて古雅なる風尚を偲ぼしむ。其の印刷の如き実に二十余回の手刷を経たものなり」三枚一組が美しい封筒に入れられ二十銭で売られた。

故新島襄先生二十周年記念絵葉書2枚。新島先生書齋、新島先生と安中。京城日報を訪ねた蘆花一行(大正2年10月)3枚。北門外の果樹園、北門内の庭の頂上 景福宮於 蘇峰51才 蘆花46才。

写真の葉書は父洪水に送られたもので、蘇峰が健次郎を案内もてなしをしてい

る様子を知らせたものである。この後兄弟は十五年間に亘る絶交に入る。

立憲政友会10年記念(明治42年9月16日)2枚。

憲法発布20年記念絵葉書2枚。

皇太子殿下韓国御渡航記念(明治40年10月)2枚。

在清国漢口帝國總領事館新築記念(明治44年)

京城朝鮮ホテル(大正4年) 釜山停車場(明治44年) 朝鮮總督府始政記念(明治43年8月29日)3枚。

大谷光瑞の二楽荘(明治44年)9枚。

大谷光瑞の二楽荘(明治44年)9枚。

食堂及アラビア室 果樹園 印度室 書庫 食堂 本館 本館夜景 第一ケ

ブルカー線路 支那室。蘇峰は京城日報の監督であったので、朝鮮往復の間よく二楽荘に立寄っている。二楽荘の本館の用材は神戸沖に沈没した英国商船を引揚げ、それを素材として利用したものであるという。日本でケーブルカーを設けたのも光瑞が最初という。

絵葉書になった写真の多くは光瑞自身で撮影したものであったことが、光瑞の書簡によって知られる。

帝國議會議事堂竣工記念(昭和11年10月)切手4種も発行され、議事堂の正面を描いた記念絵葉書と共に、セットして蘇峰に送られて来たもの。

ケース番号19 皇室関係絵葉書

皇太子殿下行啓記念 3枚。(明治40年・41年11月13日、44年8月30日)

皇太子殿下通信省行啓記念 東宮殿下行啓記念(明治40年10月26日 皇太子殿下山口県行啓記念 (明治41年4月8日)

御慶事記念(明治41年)、竹田宮殿下常宮殿下の婚儀の絵葉書、三日夜餅と鶴形台が描かれている。

御統監親兵士(明治44年) 皇族旗(明治41年)

皇太子旗(明治40年10月26日) 大札記念(大正4年)2枚。即位

礼察宮殿御式場の図、大平楽之図 4種の記念切手が貼られ、記念スタンプも捺してある。

種々の記念切手が貼られ、記念スタンプも捺してある。

大正天皇の即位礼は大正4年11月10日 京都御所で挙行された。記念切手・絵

葉書は大好評で、絵葉書は売出された当日の十一時までに二万五千組が売れたという。切手の売れ行きはもっとすさまじく、十五分で88万枚すっかり売切れてしまったという。記念スタンプは18人が6人づつ交代で押しても捺し切れなかったと中央局前にゴッタ返した人々の様子を大阪毎日新聞が伝えている。貴族院議員徳富猪一郎もお祝の式典に招かれている。

宮内大臣男爵波多野敬直からの、「天皇・皇后両陛下ノ命ヲ奉シ来ル日午後9時二條離宮ニ於テ催サル大饗夜宴ニ招待ス」という招待状がある。

立太子礼記念(大正5年11月3日)2枚。御幼少の御時代、学習院御時代、東宮殿下の写真。一銭五厘、三銭、十銭の緑・赤・青の記念切手と鳳凰の図柄のスタンプが捺してある。

大正天皇の大札から一年後 裕仁親王(今上天皇)の立太子礼が行なわれた。明治天皇は明治45年7月30日崩御され、たどちに皇太子が天皇の位につき「大正」と改元された。大正の大札が大正4年まで行われなかった理由は、はじめの一年間は天皇の喪に服し、その後、昭憲皇太后が崩御され、また1年喪に服し、大正4年まで待ったためである。

宮殿御式場の図 奈良郵便局(明治41年) 駒場郵便開記念(明治40年)2枚。

奈良郵便局(明治41年) 駒場郵便開記念(明治40年)2枚。

奈良郵便局(明治41年) 駒場郵便開記念(明治40年)2枚。

奈良郵便局(明治41年) 駒場郵便開記念(明治40年)2枚。

奈良郵便局(明治41年) 駒場郵便開記念(明治40年)2枚。

奈良郵便局(明治41年) 駒場郵便開記念(明治40年)2枚。

奈良郵便局(明治41年) 駒場郵便開記念(明治40年)2枚。

大阪朝日新聞社新築記念（大正5年）

内国為替管理事務合同一周年記念（明治39年8月1日）

富士山郵便局開局記念（明治39年7月30日）2枚。「富士山郵便局」が富士山8合目の石室に開設された時の絵葉書。山小屋風の郵便局にはフジポスト・オフィスと英語と日本語で看板が掲げられ、ひげをはやした山男風の局長の写真がある。郵便は吉田・富士山間を毎日一往復。直径4cmのスタンプは富士山と日の丸・桜。

通信省構内局貯金局待拂実施一周年記念（明治39年7月1日）2枚。

郵便貯金局設立記念（明治42年7月24日）2枚。郵便貯金局が通信省の外局として設立された時のもの。

平福百穂（一八七七年—一九三三年）

平福百穂は、秋田の画家穂庵の子として生れ、東京美術学校を卒業後、文展・帝展にも参加し、古典的傾向に走りつつあった当時の日本画に、新生面を開拓した第一人者と言われる。晩年は、南宗画ふうの淡彩色を描いたほか、アララギ派の歌人でもあった。蘇峰も佐々木信綱の弟子として歌人であり、百穂との親交の深さは、百穂が「国民新聞」にスケッチを書いていることや、次に掲げる五冊の本の装丁からも窺われる。

『山水随録記』蘇峰学人著、平福百穂

木留山しらむ岩のすてかより

肥後の国にて戦ひたるとき、

徳富蘇峰記念塩崎財団

画、大正三年民友社刊。「政党遊説でもなく、民情視察でもなく、休養期をもって百穂伯と相携へて旅を楽しんだ」という随筆。

『蘇峰文選』草野茂松・並木仙太郎編。大正4年12月民友社刊。国民新聞社編輯局における蘇峰の執筆姿が、百穂によつて描かれている。

『支那漫遊記』大正7年6月民友社刊。汪洋とした支那大陸の中に浮びあがった、白馬に乗った赤衣の貴人を描いた装釘。

『頼山陽』大正15年11月民友社刊。表裏両扉にかけて、かも川と京都の山々・寺・おはらめ・竹やぶ等を淡彩で描いている。

『蘇峰先生古稀祝賀知友新橋』矢野国太郎編。昭和6年11月民友社刊。装釘は百穂によつて表裏両扉にかけて、筆を持った鬼が波の上を走つて行く図が描かれている。蘇峰が文章活動をしている精神の勢いが、美しく力強い墨線となり描かれている。百穂は昭和8年56才で没しているので、晩年の作。

ケース番号20  
三舟の書 正二位伯爵勝安房（一八二三年—一八九九年）書、高橋伊勢守（泥舟）忍斎（一八三五年—一九〇三年）書、従三位勲二等子爵山岡鉄舟（一八三六年—一八八八年）書。

山県有朋（一八三八—一九二二年）色紙軸装

けふるとみしはさくらなりけり 有朋  
松方正義（一八三五年—一九二四年）の書。

西郷南州翁（一八二七年—一八七七年）の外套。ケース20の作品の説明は目録(2)を参照して下さい。

ケース番号21  
川端龍子（一八八五年—一九六六年）作

蘇峰肖像画117cm×175cm 昭和二十六年

蘇峰先生の米寿を祝して、門下有志の者が先生に贈ったもの。昭和32年先生の亡くなるる正月「蘇峰堂ニヨリテ永久ニ保存シ」てほしい旨の手簡と共に塩崎彦市に贈られた。手簡の全文は目録(1)に収録してある。

ケース番号22・24  
平福百穂の作品。

白梅 墨画

五松画 淡彩色画

一本松 墨画

牛 墨画

欽仰帖

平福百穂風景帖。淡彩色画  
ケース番号23

橋本雅邦（一八三五年—一九〇八年）  
四季山水画 四幅 墨画

以上ケース番号22・23・24の作品の解説は目録(1)を参照下さい。

昭和六十年十二月

徳富蘇峰記念塩崎財団